

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月29日

上場取引所 東 名

上場会社名 大同特殊鋼株式会社
コード番号 5471 URL <http://www.daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 正俊

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 平林 一彦

TEL 052-963-7501

四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	454,128	—	22,710	—	22,273	—	2,255	—
20年3月期第3四半期	436,557	14.2	27,392	17.3	27,585	11.3	9,948	△30.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	5.20	—
20年3月期第3四半期	22.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	526,555	—	207,188	—	33.6	—	407.18	
20年3月期	559,278	—	218,161	—	33.6	—	433.53	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 176,661百万円 20年3月期 188,090百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
21年3月期	—	4.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	2.00	6.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	535,000	△9.5	10,000	△74.0	9,000	△76.0	△5,000	—	△11.52

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 434,487,693株 20年3月期 434,487,693株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 624,886株 20年3月期 625,954株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 433,857,235株 20年3月期第3四半期 433,892,065株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記の予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提、仮定に基づいております。今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますのでご了承ください。なお、上記業績予想に関する事項は3～4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)におけるわが国経済は、世界経済の減速に伴う輸出の減少により期初から成長鈍化がみられましたが、秋以降にはアメリカ発の金融危機の深刻化、世界的な広がり为背景に鉱工業生産の減少幅が極めて大きなものとなるなど後退色を強めてまいりました。

特殊鋼業界の主要需要分野である自動車産業につきましては、国内販売の低迷、輸出の減少により生産台数は前年同期間を下回りました。また、その他の需要分野につきましても、世界的な景気後退により需要の減退がみられました。各需要分野の急減速、低迷の影響を受け、当社グループの受注も多くの製品で減少を余儀なくされました。

このような需要環境の中、鉄スクラップ等の原材料価格高騰に対する販売価格改善を推し進め、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は4,541億28百万円となりました。また、経常利益は222億73百万円、四半期純利益は投資有価証券評価損の計上等の結果、22億55百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

当社グループの特殊鋼鋼材の主要需要分野である日系自動車産業は、サブプライムローン問題に端を発する世界的な景気後退により、北米市場を中心に需要が急激に減退し、総生産台数は前年同期間に比べ減少しました。その他の需要分野も産業機械、建設機械をはじめ多くの分野で需要減退がみられました。

こうした中、当社の受注は在庫調整圧力も加わり減少局面にあるものの、当連結累計期間としては前年同期間並みの数量を確保しました。一方、鉄スクラップ、クロムをはじめとした各種金属価格高騰に対しては、販売価格改善、エキストラの拡大などの活動を推し進めるとともに、コスト改善に向けた最大限の自助努力を鋭意推進しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は2,695億90百万円となりました。

②電子・磁性材料

帯鋼製品は、足元において市況悪化の影響により減少しているものの、当連結累計期間としてはアジア向け輸出を中心にIT、自動車関連向けの売上数量が増加しました。磁材製品は、HDD向けを中心に売上数量が減少しました。また、薄膜・電子材料は、液晶テレビ冷陰極管電極用ニオブ材やハードコート用薄膜の売上高が増加しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の電子・磁性材料の売上高は534億38百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

自動車部品関連は、欧米での自動車販売不振、世界同時不況による国内外での普通トラック販売減少の影響により、熱間精密鍛造品、型鍛造品とも売上数量が減少しました。原材料価格高騰に対しては販売価格改善を推し進めました。また、精密鍛造品は、欧州での自動車販売不振の影響により売上数量が減少しました。

産業機械部品関連は、世界経済の減速によりIT向け等で売上数量が減少しましたが、重電、航空機関連は引き続き堅調に推移しました。また、高付加価値製品へのシフトおよび競争力強化に向け新設した7000tプレスの営業運転を開始し、特長を活かした製品の受注も始めました。原材料価格高騰に対しては販売価格改善を推し進めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は876億27百万

円となりました。

④エンジニアリング

主力製品のSTC炉等の加熱・熱処理炉製品は増加しましたが、焼結炉関連の真空熱処理炉製品、および溶解精錬炉が減少したため、売上高は減少しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のエンジニアリングの売上高は267億18百万円となりました。

⑤新素材

チタン製品は、国内外での在庫調整により売上数量の減少を余儀なくされました。粉末製品は、エレクトロニクス分野でのアジア向け輸出を中心とした新規拡販により売上数量が増加し、原材料価格高騰に対しては販売価格改善を推し進めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の新素材の売上高は88億24百万円となりました。

⑥流通・サービス

全般として基調に変化は無く、当第3四半期連結累計期間の流通・サービスの売上高は79億30百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ327億22百万円減少し5,265億55百万円となりました。総資産の主な減少の内訳と要因は以下のとおりです。

- ・「受取手形及び売掛金」の減少271億5百万円

…主として当第3四半期連結会計期間の売上高の減収に伴う減少。

また、当社グループの当第3四半期連結会計期間末の少数株主持分を含めた純資産額は、前連結会計年度末に比べ109億73百万円減少し2,071億88百万円となりました。純資産額の主な減少の内訳と要因は以下のとおりです。

- ・「その他有価証券評価差額金」の減少91億9百万円

…保有株式の時価の下落に伴う減少。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と同じく33.6%となり、1株当たり純資産額は407円18銭と前連結会計年度末に比べ26円35銭減少しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の日本経済は、欧米での景気後退の深刻化、長期化が見込まれるなか、国内の在庫調整圧力、雇用調整圧力が高まるとみられるため、当面、悪化の続く厳しい情勢が継続するものと予想されます。特殊鋼業界におきましても、主要需要分野である自動車産業の生産が減少見込みにあることから、販売数量の減少は避けられないものと考えられます。

このような環境の中、引き続きコスト改善に向けた抜本的構造改革を推進する一方、事業ポートフォリオ改革を進めるべく展開してきた戦略商品群に対する設備投資の効果最大化を図り、収益構造の再構築に努めてまいります。また、リードタイム短縮、たな卸資産圧縮によるキャッシュ・フローの改善に取り組み、財務体質改善に努めてまいります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成20年3月期(実績)	591,398	38,441	37,501	14,196
平成21年3月期(予想)	535,000	10,000	9,000	△5,000

(注) 1. 業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提、仮定に基づいております。

今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えてください。

2. 業績予想の前提とする08年度下期の主要な価格指標は次のとおりであります。

・為替レート	94.3円/\$
・鉄スクラップ[中部地区H2建値]	13,000円/t
・ニッケル [LME市況]	4.7\$/lb
・モリブデン [メタルズウィーク誌市況]	13.3\$/lb

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

採用した簡便な会計処理のうち、重要なものはありません。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①会計処理基準に関する事項の変更

ア. 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

イ. 重要な資産の評価基準および評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は295百万円、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ311百万円減少しております。

ウ. 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

②追加情報

有形固定資産の耐用年数の変更

当社および一部の国内連結子会社は、平成20年度の法人税法の改正に伴い、資産の利用状況等を勘案した結果、第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数を変更しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は881百万円、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ878百万円減少しております。

5 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,830	14,990
受取手形及び売掛金	117,600	144,706
たな卸資産	133,350	126,779
その他	8,144	10,252
貸倒引当金	△615	△922
流動資産合計	284,310	295,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	54,942	55,137
機械装置及び運搬具(純額)	76,430	79,607
その他(純額)	41,909	41,205
有形固定資産合計	173,282	175,951
無形固定資産	1,056	911
投資その他の資産		
投資有価証券	44,686	64,065
その他	23,719	22,814
貸倒引当金	△500	△270
投資その他の資産合計	67,906	86,608
固定資産合計	242,245	263,471
資産合計	526,555	559,278

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,363	97,556
短期借入金	93,269	62,115
コマーシャル・ペーパー	10,000	29,000
1年内償還予定の社債	5,000	10,000
未払法人税等	2,074	14,285
賞与引当金	2,761	7,730
その他の引当金	364	320
その他	23,045	18,070
流動負債合計	214,879	239,079
固定負債		
社債	20,700	10,700
長期借入金	63,480	68,480
退職給付引当金	7,047	6,955
その他の引当金	957	1,464
負ののれん	13	3
その他	12,289	14,434
固定負債合計	104,487	102,037
負債合計	319,367	341,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	28,548	28,560
利益剰余金	111,966	113,185
自己株式	△300	△307
株主資本合計	177,387	178,611
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,404	7,704
繰延ヘッジ損益	△8	△0
土地再評価差額金	1,356	1,356
為替換算調整勘定	△670	418
評価・換算差額等合計	△726	9,478
少数株主持分	30,527	30,071
純資産合計	207,188	218,161
負債純資産合計	526,555	559,278

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	454,128
売上原価	392,061
売上総利益	62,066
販売費及び一般管理費	39,356
営業利益	22,710
営業外収益	
受取利息	91
受取配当金	1,477
持分法による投資利益	697
その他	1,183
営業外収益合計	3,449
営業外費用	
支払利息	1,951
為替差損	97
その他	1,838
営業外費用合計	3,886
経常利益	22,273
特別利益	
固定資産売却益	31
その他	8
特別利益合計	40
特別損失	
投資有価証券評価損	8,746
その他	559
特別損失合計	9,306
税金等調整前四半期純利益	13,007
法人税、住民税及び事業税	5,551
法人税等調整額	3,246
法人税等合計	8,798
少数株主利益	1,953
四半期純利益	2,255

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

		当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益		13,007
減価償却費		16,608
貸倒引当金の増減額 (△は減少)		△71
賞与引当金の増減額 (△は減少)		△4,964
退職給付引当金の増減額 (△は減少)		56
その他の引当金の増減額 (△は減少)		△468
受取利息及び受取配当金		△1,568
支払利息		1,951
為替差損益 (△は益)		302
持分法による投資損益 (△は益)		△697
投資有価証券売却損益 (△は益)		2
投資有価証券評価損益 (△は益)		8,746
有形固定資産売却損益 (△は益)		△44
有形固定資産除却損		572
売上債権の増減額 (△は増加)		26,572
たな卸資産の増減額 (△は増加)		△7,047
仕入債務の増減額 (△は減少)		△18,766
その他		6,030
小計		40,222
利息及び配当金の受取額		1,673
利息の支払額		△1,769
法人税等の支払額		△18,129
営業活動によるキャッシュ・フロー		21,995
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出		△626
定期預金の払戻による収入		600
有形固定資産の取得による支出		△17,431
有形固定資産の売却による収入		213
投資有価証券の取得による支出		△1,562
投資有価証券の売却による収入		0
貸付けによる支出		△22
貸付金の回収による収入		53
その他		△331
投資活動によるキャッシュ・フロー		△19,106

(単位:百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	11,549
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△19,000
長期借入れによる収入	18,720
長期借入金の返済による支出	△3,834
社債の発行による収入	10,000
社債の償還による支出	△5,000
配当金の支払額	△3,178
少数株主への配当金の支払額	△789
その他	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,461
現金及び現金同等物に係る換算差額	△517
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,832
現金及び現金同等物の期首残高	14,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,084

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	特殊鋼 鋼材 (百万円)	電子・ 磁性材料 (百万円)	自動車部 品・産業 機械部品 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	新素材 (百万円)	流通・ サービス (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高	269,590	53,438	87,627	26,718	8,824	7,930	454,128	—	454,128
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	26,874	1,249	24,691	588	546	5,693	59,644	(59,644)	—
計	296,464	54,687	112,318	27,306	9,371	13,624	513,772	(59,644)	454,128
営業利益	10,534	2,014	6,596	1,714	845	1,012	22,717	(6)	22,710

(注) 事業区分の方法

当社グループの事業区分の方法は、事業内容別に6部門にセグメンテーションしております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
売上高	436,557
売上原価	370,477
売上総利益	66,080
販売費及び一般管理費	38,687
営業利益	27,392
営業外収益	
受取利息及び配当金	1,221
持分法による投資利益	1,398
その他	1,301
計	3,921
営業外費用	
支払利息	1,877
その他	1,851
計	3,728
経常利益	27,585
特別利益	
投資有価証券売却益	865
固定資産売却益	718
貸倒引当金戻入額	49
その他	200
計	1,833
特別損失	
役員退職慰労引当金繰入額	511
退職給付費用	117
投資有価証券評価損	62
減損損失	0
その他	140
計	831
税金等調整前四半期純利益	28,587
法人税、住民税及び事業税	14,496
法人税等調整額	2,135
少数株主利益	2,007
四半期純利益	9,948

「参考資料」

(要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕	
税金等調整前四半期純利益	28,587
減価償却費	14,067
減損損失	0
貸倒引当金の増減額(減少:△)	△ 20
賞与引当金の増減額(減少:△)	△ 3,845
役員賞与引当金の増減額(減少:△)	△ 252
退職給付引当金の増減額(減少:△)	35
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	428
受取利息及び受取配当金	△ 1,221
支払利息	1,877
為替差損益(差益:△)	164
負ののれん償却額	△ 32
持分法による投資損益(利益:△)	△ 1,398
投資有価証券等売却損益(売却益:△)	△ 863
投資有価証券等評価損	69
有形固定資産売却損益(売却益:△)	△ 714
有形固定資産除却損	678
売上債権の増減額(増加:△)	5,262
棚卸資産の増減額(増加:△)	△ 17,113
仕入債務の増減額(減少:△)	△ 4,739
その他の増減額	△ 677
小 計	20,293
利息及び配当金の受取額	1,483
利息の支払額	△ 1,636
法人税等の支払額	△ 10,617
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,523
〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕	
定期預金の預入による支出	△ 101
定期預金の払戻による収入	400
有形固定資産の取得による支出	△ 17,659
有形固定資産の売却による収入	564
投資有価証券の取得による支出	△ 12,570
投資有価証券の売却による収入	18,096
貸付けによる支出	△ 81
貸付金の回収による収入	297
その他の収入又は支出(支出:△)	△ 293
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,347
〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕	
短期借入金の純増減額(減少:△)	△ 11,774
コマーシャルペーパーの純増減額(減少:△)	2,000
長期借入れによる収入	20,000
長期借入金の返済による支出	△ 3,896
配当金の支払額	△ 3,192
少数株主への配当金の支払額	△ 669
その他の収入又は支出(支出:△)	△ 54
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,412
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 195
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	393
現金及び現金同等物の期首残高	10,814
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	3,540
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,749

「参考資料」

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	特 殊 鋼	電 子 ・ 磁 性 材 料	自 動 車 部 品 ・ 産 業 機 械 部 品	エ ン ジ ン 部 品	新 素 材	流 通 ・ サ ー ビ ス	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高									
(1)外部顧客に対する売上高	241,105	62,055	85,758	27,994	11,967	7,675	436,557	—	436,557
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	30,159	751	27,592	1,778	648	6,180	67,110	(67,110)	—
計	271,265	62,806	113,351	29,773	12,615	13,856	503,668	(67,110)	436,557
営 業 利 益	7,764	4,395	9,767	1,520	2,674	1,273	27,395	(2)	27,392

<参考資料>

平成21年3月期 第3四半期決算発表

平成21年1月29日
大同特殊鋼株式会社

連 結

1. 当第3四半期累計期間のセグメント別売上高
(単位：百万円、%)

	20年12月 (前年同期差)		
	第3四半期	増減額	増減率
特 殊 鋼 鋼 材	269,590	28,484	11.8
電 子 ・ 磁 性 材 料	53,438	-8,617	-13.9
自 動 車 ・ 産 業 機 械 部 品	87,627	1,868	2.2
エ ン ｼﾞ ン ア リ ン ク	26,718	-1,276	-4.6
新 素 材	8,824	-3,143	-26.3
流 通 ・ サ ー ビ ス	7,930	255	3.3
計	454,128	17,570	4.0

2. 要約連結損益計算書 (四半期累計期間)
(単位：百万円、%)

	20年12月 (前年同期差)		
	第3四半期	増減額	増減率
売 上 高	454,128	17,570	4.0
営 業 利 益	22,710	-4,682	-17.1
営 業 外 収 益	3,449	-471	-
営 業 外 費 用	3,886	158	-
経 常 利 益	22,273	-5,312	-19.3
特 別 利 益	40	-1,793	-
特 別 損 失	9,306	8,474	-
税 引 前 純 利 益	13,007	-15,580	-
法 人 税 等	8,798	-7,833	-
少 数 株 主 利 益	1,953	-53	-
当 期 純 利 益	2,255	-7,692	-77.3

3. 当第3四半期累計期間経常利益増減要因 (前年同期対比)

(単位：億円)

(参考：原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 販売価格是正	155	1. 原材料等市況	179
2. コスト削減	34	2. 販売数量減	32
		3. 固定費の増加	25
		4. 営業外損益	6
計 (a)	189	計 (b)	242
		差引 (a) - (b)	-53

	19年12月 第3四半期	20年12月 第3四半期
H2建値 (千円/t)	32.6	39.9
ニッケル(LME) (\$/LB)	16.25	8.39
カドム(南7建値) (¢/LB)	102.0	202.0

4. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 20年3月期	当四半期 20年12月期	増減	科目	前期 20年3月期	当四半期 20年12月期	増減
流動資産	295,807	284,310	-11,496	負債	341,116	319,367	-21,749
現 預 金	14,990	25,830	10,839	営 業 債 務	97,556	78,363	-19,193
営 業 債 権	144,706	117,600	-27,105	有 利 子 負 債	180,295	192,449	12,154
た な 卸 資 産	126,779	133,350	6,571	そ の 他	63,264	48,554	-14,710
そ の 他	9,330	7,529	-1,801				
固定資産	263,471	242,245	-21,226	純資産	218,161	207,188	-10,973
有 形 固 定 資 産	175,951	173,282	-2,668	株 主 資 本	178,611	177,387	-1,224
無 形 固 定 資 産	911	1,056	145	評 価 ・ 換 算 差 額 等	9,478	-726	-10,205
投 資 そ の 他 の 資 産	86,608	67,906	-18,702	少 数 株 主 持 分	30,071	30,527	455
資産合計	559,278	526,555	-32,722	負債純資産合計	559,278	526,555	-32,722

5. 予想セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	予想 (前期差)			(前回公表値との差)	
	21年3月期	増減額	増減率	増減額	増減率
特 殊 鋼 鋼 材	310,800	-18,838	-5.7	-63,100	-16.9
電 子 ・ 磁 性 材 料	62,800	-16,350	-20.7	-10,100	-13.9
自 動 車 ・ 産 業 機 械 部 品	105,400	-10,490	-9.1	-16,000	-13.2
エ ン シ ー ニ ア リ ン ク ー	34,600	-6,509	-15.8	-2,100	-5.7
新 素 材	11,100	-4,467	-28.7	-2,900	-20.7
流 通 ・ サ ー ビ ス	10,300	257	2.6	-800	-7.2
計	535,000	-56,398	-9.5	-95,000	-15.1

6. 業績予想

(単位：百万円、%)

	予想 (前期差)			(前回公表値との差)	
	21年3月期	増減額	増減率	増減額	増減率
売 上 高	535,000	-56,398	-9.5	-95,000	-15.1
営 業 利 益	10,000	-28,441	-74.0	-26,500	-72.6
経 常 利 益	9,000	-28,501	-76.0	-27,000	-75.0
当 期 純 利 益	△ 5,000	-19,196	-	-24,000	-

7. 予想経常利益増減要因 (前期対比)

(単位：億円)

(参考：原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額	前 期 20年3月期	予 想 21年3月期	
1. 販売価格是正	221	1. 原材料等市況	166			
2. コスト削減	16	2. 販売数量減	362	H2建値 (千円/t)	34.7	33.0
3. 固定費圧縮	7	3. 営業外損益	1	ニッケル(LME) (\$/LB)	15.47	7.42
計 (a)	244	計 (b)	529	カドム(南7建値) (¢/LB)	108.8	181.5
		差引 (a) - (b)	-285			

8. 予想経常利益増減要因 (前回公表値対比)

(単位：億円)

(参考：原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額	前回予想 21年3月期	予 想 21年3月期	
1. 原材料等市況	61	1. 販売数量減	344			
2. 固定費圧縮	60	2. 販売価格変化	3	H2建値 (千円/t)	41.5	33.0
		3. 生産減によるロス	39	ニッケル(LME) (\$/LB)	8.07	7.42
		4. 営業外損益	5	カドム(南7建値) (¢/LB)	209.8	181.5
計 (a)	121	計 (b)	391			
		差引 (a) - (b)	-270			

(参考) 業績の推移

(単位：百万円)

	実績				予想
	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期
売 上 高	429,105	480,703	522,620	591,398	535,000
営 業 利 益	21,456	37,542	31,700	38,441	10,000
経 常 利 益	22,630	39,366	33,029	37,501	9,000
当 期 純 利 益	11,385	21,196	19,552	14,196	△ 5,000